

一 般 質 問 通 告 書

令和7年2月28日

高島市議会議長 河越 安実治 様

高島市議会議員 5 番 吉見 大

次の事項について質問いたしたいので通告します。

※質問項目（番号）が2以上ある場合は、次のどちらかに○をつけてください。

- ・ 質問番号1の用紙にだけご記入ください。
- ・ 質問が一つだけの場合は必然的に1となりますので、記入は不要です。

初問は { 1. 全項目一括質問一括答弁
2. 項目ごとに一括質問一括答弁

（質問番号 1） 発 言 事 項	高島市における協働の位置付けと今後の展望及び市民協働交流 センターの在り方について
要 旨	（項目だけでなく、質問の趣旨が理解できるように記入してください。） 市誕生以来、地域の特色を活かしながら、市民・企業・行政・団体が連携する「協働によるまちづくり」を推進してこられました。高島市政20年を迎えた現在、少子高齢化や人口減少が進む中で、市民一人ひとりの力を活かした地域の活性化が不可欠です。そのためにも、市民協働の推進をさらに深化させ、持続可能な地域社会を築いていくことが重要であると考えます。 また、高島市総合計画や第2次まちづくり推進指針においても、市民協働の推進が重要施策として位置付けられており、地域の自立性を高める観点からも、市民と行政の協働によるまちづくりの具体的な方向性を示す必要があると考えます。 さらに言えば、第2次高島市総合計画においては、6つの施策項目ごとに「市民協働の視点」が整理されています。また、その6つ目の「こころざす行政経営」においては「方針1 市民協働により総合計画を推進します」として、一つの基本方針として位置付け

られています。こういった視点や方針が記載されている総合計画を前提に、この1月に策定されたのが、「第2次高島市市民協働のまちづくり推進指針」です。この指針は、市民、行政、中間支援組織が協働のまちづくりにどう取り組んでいけばよいのかを段階ごとに示したものだと考えます。

改めて総合計画や令和7年度から始まる第3期高島市総合戦略を見てみますと、「産業・経済」「子育て・教育」などの個別の領域に横串を刺す「『市民協働』をそもそもどうやって進めていくのか」という方針が明確に示されているとは言えません。この指針は、言うなれば、横串をどうやって刺していけばよいのかを具体的に示したものと見受けられます。

質 問

①高島市における協働の位置付けについて

- 1.高島市総合計画および第2次まちづくり推進指針に基づく市民協働の現状と課題について、市としてどのように分析されているのか。
- 2.市民協働をより効果的に推進するために、高島市総合計画および第2次まちづくり推進指針の視点を踏まえて、今後どのような施策を検討されているのか。

②高島市の協働の今後の展望について

1. 高島市総合計画および第2次まちづくり推進指針の目標に沿った、市民が自発的に協働活動を行える環境を整えるための具体的な方策について、市の見解をお聞かせください。
2. デジタル技術の活用や新たな市民参加の仕組みの導入について、高島市総合計画および第2次まちづくり推進指針の視点から、市はどのように考えておられるのか。

3. 具体的で素晴らしい計画や指針がある中で、高島市として「市民協働」をどう根づかせていくのか。庁内での業務における当たり前のこととして、どう職員や課に浸透させていくのか。（もしくは庁内全体の課題として、どう浸透させていくのか。）
4. 令和8年度に総合計画後期基本計画の計画期間が終了します。これを見据えて、今後、市の戦略と計画に「市民協働の推進」をどのように位置付けていかれようとしているのか。

③市民協働交流センターの在り方について

- 1.現在の市民協働交流センターの利用状況や課題について、市としてどのように把握されているのか。また、中間支援組織としての役割と今後の展望について、市としてどう捉えているのか。
- 2.高島市総合計画および第2次まちづくり推進指針の方針に沿った、より多くの市民が利用しやすく、協働が活性化するための改善策をどのように考えておられるのか。